

平成28年3月7日

江差町議会議長 打越 東亜夫 様

総務産業常任委員会
委員長 萩原



委員会の中間報告について

本委員会に付託された調査事件について、会議規則第47条の規定により、下記のとおり報告します。

1. 調査事件

平成27年第3回定例会 発議第9号

「新幹線を活用した産業振興に関する事務調査」について

2. 調査経緯

(1) 本委員会は、3月26日に北海道新幹線がいよいよ開業するが、開業に伴う効果が一過性ではなく、持続的に経済効果をもたらされなければならないものであることから、開業効果を産業振興に結び付けるための対策について調査することとし、10月6日、11月5日、12月8日、1月15日、1月28日、2月18・19日、2月25日、3月2日と調査を続けてきた。

(2) 北海道新幹線開業に向けた江差町の取り組みについて担当課からのヒアリング、檜山振興局担当課及び木古内町を訪問し、広域連携をはじめとした、各種施策の取り組み状況についての意見交換、さらに、新幹線開業を既に経験している自治体の先例を学ぶため、当町と立地条件が類似している青森県八戸市近隣の南部町、田子町へ視察を行い調査を進めて来たところである。

3. 調査の中間報告

(1) 国道227号線中山峠間、道道江差木古内間（木古内・湯ノ岱間）にはトイレ施設がない。又、道道江差木古内線（木古内・湯ノ岱間）は、携帯電話が一区間が不通となっており、何れも、通行するにあたり不便な状況となっている。早急に関係町と連携して対策を講じ解消する必要がある。併せて、道道江差木古内線の道路改良を促進するよう関係機関に要請すべきである。

当委員会としては、開業後、数か月間の経済効果や新函館北斗駅からの乗客の動向も調査する必要があるため、緊急的事項に限り中間報告とする。

